

令和6年度 授業づくりシート

教科名		自立活動	6	学年
単元名	「のばして、かがんで、とってみよう！」			
単元の目標	・膝を曲げ、かがんだ状態で物を取ることができる。 ・手を上に伸ばし、物を取ることができる。			
児童の実態	A 児	個人情報のため省略		
児童の個別目標	A 児	・かがんだ状態で、物を取ることができる。 ・肘を伸ばして、高いところにある物を取ることができる。		

○活動内容と具体的な手立て

活動内容	児童の予想される言動	具体的な手立て
・ 始めの挨拶	・ 教師の言葉を聞いて、膝に手を置く。	・ 聞こえる声で、膝に手を置き、正しい姿勢になることを伝える。 ・ 手本を示し、良い姿勢が模倣できるようにする。
・ 身体ほぐしダンス	・ 手本を見て模倣を繰り返すことで覚え、覚えたら自分から身体を動かすことができる。	・ 目の前で手本を示し、繰り返し一緒に取り組む。
・ のばして、かがんで、とってみよう！	・ 手を伸ばして取らないといけない物は、手を伸ばしきらずに背伸びをして身体全体を近づけて取る。 ・ かがむまで時間がかかるが、一度かがむことができたなら、維持できる。	・ 手を真っ直ぐに伸ばすことができるように、肘を支える。 ・ 吊るす物の高さを調整できる器具を用意し、段階的に伸ばす動きの確認ができるようにする。 ・ 両手や腰を支えながらかがむようにして、身体の動かし方を確認したり、バランスを維持したりできるようにする。
・ 終わりの挨拶	・ 教師の言葉を聞いて、膝に手を置く。	・ 聞こえる声で、膝に手を置き、正しい姿勢になることを伝える。 ・ 手本を示し、良い姿勢が模倣できるようにする。

○展開

時配	活動内容と教師の支援	該当児童				
1	① 始めの挨拶					
	・ 膝に手を置き、正しい姿勢を確認してから挨拶をする。					
5	② 身体ほぐしダンス					
	・ 曲に合わせて、手足や身体を振る動きや教師と向かい合って手をつなぎ、引っ張り合う動きに取り組む。					
	○一緒に取り組みながら動きを確認して、模倣で取り組むことができるようにしていく。					
13	③ のばして、かがんで、とってみよう※日替わりで伸びる動きとかがむ動きに取り組む。					
	<table><tr><th>伸びる動き</th><th>かがむ動き</th></tr><tr><td>○バランスビームの道を通ったあと、天井から吊るした物に手を伸ばして取る。 ・ 手をまっすぐに伸ばすことができるように、肘を支える。 ・ 興味あるものを、天井から吊るし、意欲的に取り組むことができるようにする。 ・ 児童の身長に合わせて、吊るす物の高さを調整し、腕を真っ直ぐに伸ばすことができるようにする。</td><td>○高さの異なる昇降台に登り、床に置いてあるお手玉をかがんで取る。 ・ かがむときには、両手や腰を支えるようにする。 ・ かがんで取りやすい高さから始め、段階的に台を高くしていく。</td></tr></table>	伸びる動き	かがむ動き	○バランスビームの道を通ったあと、天井から吊るした物に手を伸ばして取る。 ・ 手をまっすぐに伸ばすことができるように、肘を支える。 ・ 興味あるものを、天井から吊るし、意欲的に取り組むことができるようにする。 ・ 児童の身長に合わせて、吊るす物の高さを調整し、腕を真っ直ぐに伸ばすことができるようにする。	○高さの異なる昇降台に登り、床に置いてあるお手玉をかがんで取る。 ・ かがむときには、両手や腰を支えるようにする。 ・ かがんで取りやすい高さから始め、段階的に台を高くしていく。	
伸びる動き	かがむ動き					
○バランスビームの道を通ったあと、天井から吊るした物に手を伸ばして取る。 ・ 手をまっすぐに伸ばすことができるように、肘を支える。 ・ 興味あるものを、天井から吊るし、意欲的に取り組むことができるようにする。 ・ 児童の身長に合わせて、吊るす物の高さを調整し、腕を真っ直ぐに伸ばすことができるようにする。	○高さの異なる昇降台に登り、床に置いてあるお手玉をかがんで取る。 ・ かがむときには、両手や腰を支えるようにする。 ・ かがんで取りやすい高さから始め、段階的に台を高くしていく。					
	④ 終わりの挨拶					
	・ 膝に手を置き、正しい姿勢を確認してから挨拶をする。					

○児童の授業に取り組む様子

A 児	・（伸びる動き）やることがわかると、吊るしてある模型に手を伸ばして取ることができていた。繰り返すことで、かかとを上げたり、両手を伸ばして掴んだりするなど、自分で工夫しながら模型を取る様子が見られるようになった。 ・（かがむ動き）初めは、膝を曲げず、身体を傾けてお手玉を取ろうとしていた。両手を前から支え、かがむ動きを確認していくと、膝を曲げる姿勢を維持しながら、お手玉を取ることができるようになってきた。
-----	---

グループ全体の反省・課題 等
【伸びる動き】 ・ 模型を使用したことで、注視することができた。 ・ 活動内容がわかりやすかったので、一人一人進んで取り組めた。 ・ 模型が簡単に取れないような吊るし方の工夫（洗濯ばさみとスズランテープを固定）したことで、しっかり手を伸ばして力を入れながら取ることができた。 ・ 一定の高さでの吊るし方だったので、やり方がわかると簡単に取ることができていた。いろいろと高さを調整する工夫が必要だと感じた。 ・ 活動量として、吊るす模型の量を増やしてもよかった。 【かがむ動き】 ・ 高さの異なる昇降台を使用したことで、段階的にかがむ動きを確認することができた。かがんだ状態を維持する時間が延びた。 ・ 活動の場（空間）が狭く、動きづらそうにしている姿が見られた。昇降台を増やして、幅や距離を広げれば、もう少し自発的な姿が見られたかもしれない。